

Title	清酒製造業の協業に関する研究
Sub Title	
Author	平林栄子(Hirabayashi, Eiko) 小野桂之介
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1994
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1994年度経営学 第1118号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001994-1118

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

著者氏名

平林 栄子

主査 小野桂之介

所属

小野桂之介 研究室

副査 河野 宏和

山根 節

所属

小野桂之介 研究室

清酒製造業の協業に関する研究

清酒製造業者は、今、大きな転機にたたさされている。消費者の清酒離れ、流通構造の変化による低価格化といった清酒製造業界をとりまく外からの問題と、酒造労働力の不足という内からの問題が今同時に起こり、従来のままの経営では、清酒製造業者はその存続すら危ぶまれる状況である。こうした困難の荒波は、規模の経済性に欠け、動員可能な経営資源の制約も厳しい中小清酒業者にいち早く襲って来る。

本論文では、こうした見地から、中小清酒業者が大手業者に比較して持つそうした弱点を克服し、生存と発展を実現してゆく一つのアプローチとして、さまざまな形の協業行動がどのような有効性を秘めているかを探求することに主眼を置いた。

極力具体的なかたちで検討を進めるため、長野県の清酒製造業者F社の事例を中心に 鑑据え、同社の経営への適用を常に念頭に置きながら研究作業を進めた。まず各種の文献資料の調査および専門研究者・業界関係者のインタビュー調査から、清酒製造業界の特徴と問題点を把握・整理した。また、これと並行して、事例企業となるF社の現状およびF社を含む長野県の清酒製造業者の特徴と問題点についても調査した。

次いで、同業界でこれまで実際に行われた協業行動の例（11社の事例）ならびに関連情報、各種の実態調査報告書から抽出・分析すると共に、協業行動を実際に行った企業の経営者、専門研究者、その他の業界関係者にインタビューを行い、清酒製造業における協業行動とその効果について体系的な整理を試みた。

そして、この効果体系をF社に適用することによって、同社にとっての協業の可能性を評価し、あわせてそうした協業行動を活用した今後の経営戦略についても検討した。